


『秋晴れのスキップ』 寸評

- ・リコーダー合奏に似つかわしく愛らしい作品
- ・m.1-5 次から次へと仲間があつまってくるようでたのしい
- ・リズムの各パートくみあわせがよく研究されている
- ・m.11-12 T.Rec.のフレーズがメロディときれいにハモる
- ・実際のスキップは付点リズム  のほうがしっくりくるが、

完成度をさらに上げるために

- ・ **brioso** は **con brio** のほうが一般的に楽語として認知されている
- ・ m.8 b.1 ベース 主和音ならドのほうがメロディとぶつからない
- ・ m.10 b.4- m.11 b.1 ファとファ#が別パートに離れている (=対斜)
m.10 b.4 ベースを四分音符でミにすると避けられる
- ・ m.6 ベースの八分休符と四分休符はm.8のように順番をいれかえよう
- ・ m.12 S.Rec.とT.Rec.のクレッシェンドは休符にかからないように
- ・ m.14 b.1 ベースは属音のほうが和声はつきりする
- ・ m.15 b.4 ここのベースも属音のほうがメロディとうごきがダブらないのでよい
- ・ m.12 b.3-4 ベースはオクターヴ下でもよいかも
- ・ m.13 S.Rec.の **f** は半拍あとのほうがより正確

m.=measure 小節番号のことです。
b.=beat 拍のことです。

とてもバランスのよい作品に仕上がりました。

持庵 勉